

ことばの
意味を
学ぼう！

青年訓 ⑦

くらよみちひかん
暗い世道に悲観をするな

あかあしたま
明るい朝が待っている

いっほふだ
一歩踏み出し大空望め

こうみょうきぼう
光明希望が展げくる

- ※世道▶人生を歩む道。
- ※悲観▶物事がうまくいかないと望みを失い悲しむこと。がっかりすること。
- ※望む▶(自分の将来や他人の事について)こうなればよい、そうしたいと思うこと。何かを求めて遠くまで見ること。
- ※光明▶明るく輝く光。
- ※希望▶未来に望みをかけること。
- ※展げる▶閉じふさがったものが広がらぬこと。



何かやろうとした事がうまくいかず、行き詰まってしまった時、無意識に「諦める理由」を探し始める人がいます。他人や周囲の状況のせいにして、自分はまるで悲劇のヒロインになりきって、出来ない自分を正当化します。そんな「諦めくせ」のついた人には、何とも煮え切らない中途半端な人生が待っています。

事がうまく運ばない原因には二種類の壁があります。自分の実力が足りない「能力的な壁」、そして周囲の状況や時機を満たしていない「環境の壁」です。もし己の実力不足に原因があるなら、それは自分の努力次第で到達できるでしょう。しかし、周囲の状況がまだ万全でないのなら、焦らず時機を待つことも必要です。ただし、待っている間も自身を

●青年訓

天恵地恩に感謝を捧げ 報恩奉仕が人の道に違いないさ奮い起て 平和の建設我等の使命 逆巻く怒濤猛くとも 天恵は固く揺るぎなし 泰然自若試練に耐えよ 事に臨んで不動なれ 真理つかめば心は躍る 大地踏みしめ天職努力 徳を積みつつ進めよ和せよ 自然の恵は必ず降る 暗い世道に悲観をするな 明るい朝が待っている 一歩踏み出し大空望め 光明希望が展げくる 怒るな責めるな苦しむな 善きも悪しきもみな鑑 憂い打ち捨ていざ突き進め 信念一つで万事を開く

自分の思いどおりに事が運ばないからといって、現状をただ悲観するだけでは何も解決しません。そんな時こそ、一歩を踏み出す前向きな姿勢が明るい人生をひらきます。

磨く努力を欠けば、せっかく好機が到来しても再び失敗を繰り返すことになりかねません。

金剛さまは、「誰もが皆、今の自分にふさわしい場所(学校や職場)に縁を受けている。現状を良くしたいと思うのなら、周囲の環境を変えようとするよりも、自分自身が出る限りの努力奮闘をした上で、結果は神にゆだねることだ」ということをおっしゃっています。

一日の働きが朝から昼、そして夜へと移り変わるように、人生の中でも良い時があれば悪い時があり、必ず移り変わりがあるものです。永遠に明けぬ夜はありません。どんな時にも前向きに自分を磨く努力を続けていくことが、光り輝く明日への一歩につながるのです。